

統合国際深海掘削計画 (IODP)

概要

日米を中心に欧、中が参加し、平成15年10月から始動した多国間国際協力プロジェクト。我が国が建造する地球深部探査船「ちきゅう」と、米国が建造する掘削船を用いて深海底を掘削することにより、地球環境変動、地球内部構造、地殻内生命圏等の解明を目的とした研究を行う。

現状

平成15年4月22日に文部科学大臣と米国国立科学財団(NSF)長官が覚書に署名し、IODPの基本的な枠組みを構築。平成16年3月16日には、欧州海洋研究掘削コンソーシアム(ECORD)の代表機関である仏国立宇宙科学研究所長が文部科学大臣、NSF長官との覚書に署名し、欧州が正式に参加。

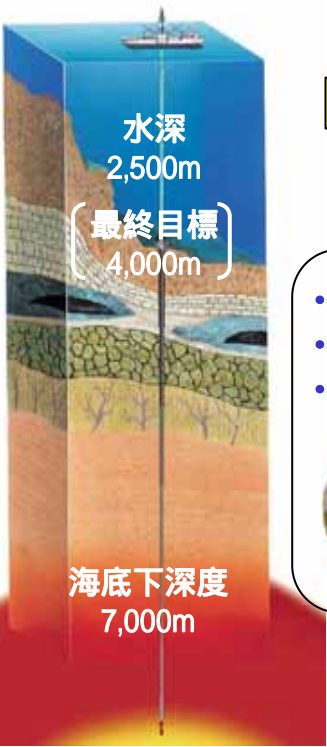
地球深部探査船「ちきゅう」は、平成14年1月18日に命名・進水式を行い、船内設備を整備後、平成15年4月22日より海上運転試験を開始。同9月26日に掘削用船上やぐらを搭載。

スケジュール

暦年	2002	2003	2004	2005	2006	2007
IODP	計画準備 日米覚書締結		IODP実施 参加国覚書締結			
地球深部探査船「ちきゅう」	艦装工事		海上試験	引渡	慣熟訓練	国際運航



地球深部探査船「ちきゅう」
(H17年度完成予定)



地球環境変動解明
地球内部構造解明
地殻内生命圏解明

日米主導の国際協力体制(イメージ)

